

A light gray world map is centered in the background of the slide.A decorative graphic consisting of a vertical black line and a horizontal black line intersecting at a point. To the left of the intersection are four colored squares: a blue square at the top, a red square on the left, a yellow square at the bottom, and a white square on the right.

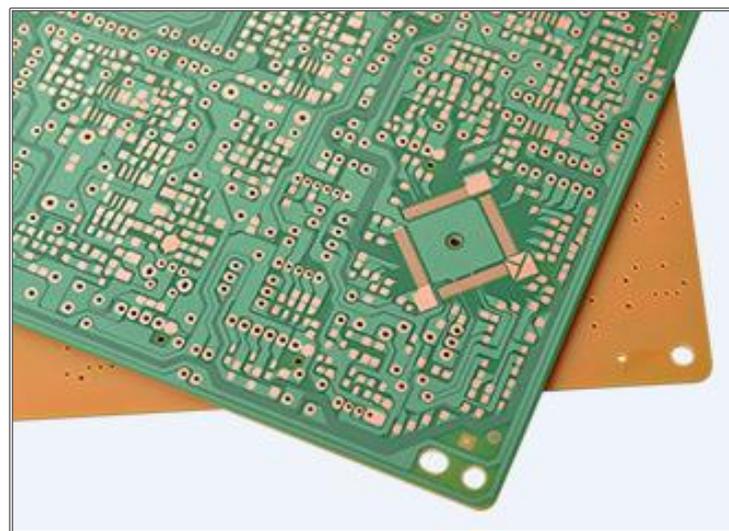
2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算説明会

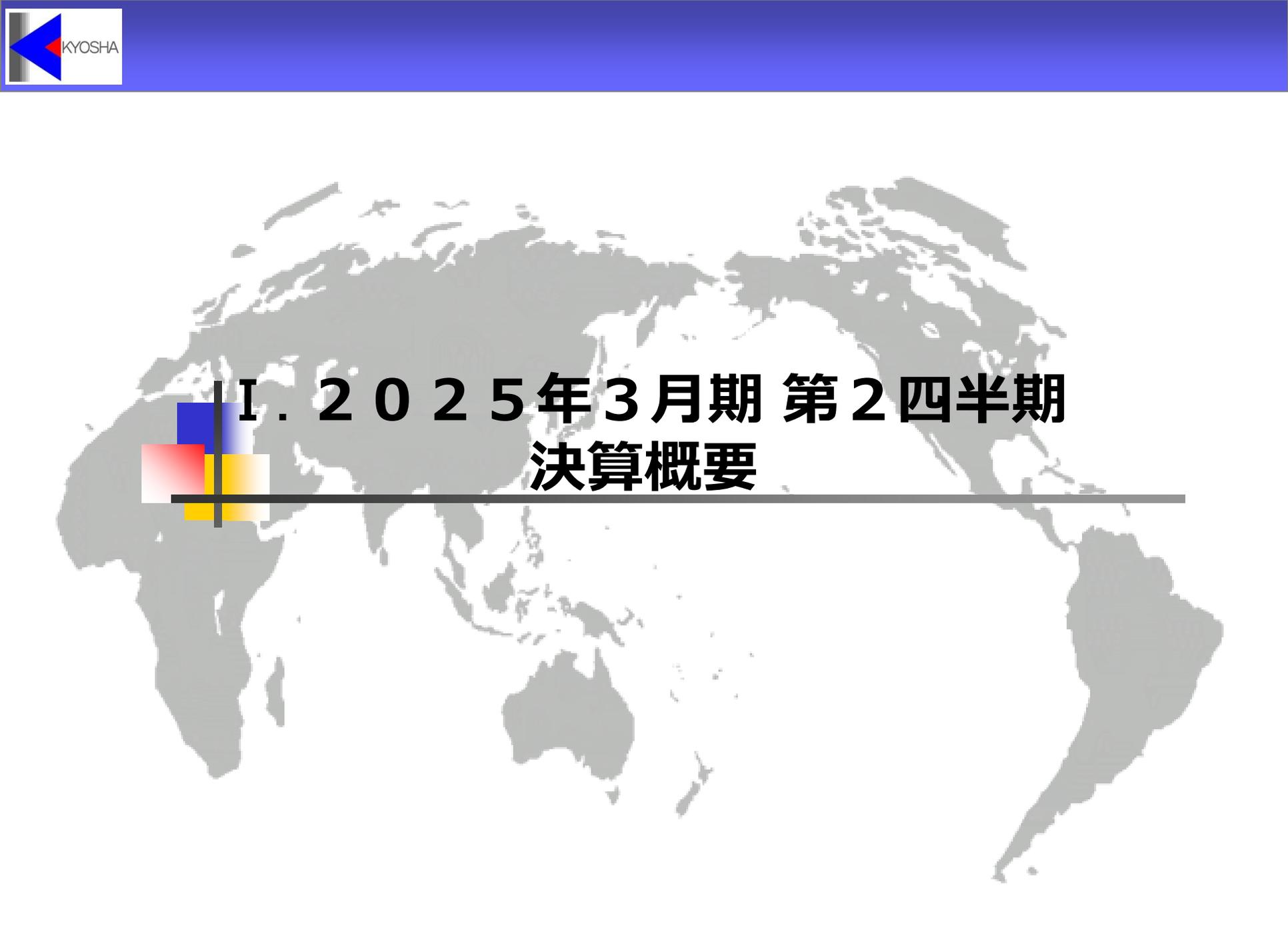
株式会社 京写

証券コード：6837

2024年 11月8日

- I. 2025年3月期 第2四半期決算概要**
- II. 2025年3月期 業績予想**
- III. 中期経営計画について**



A faint, light gray world map is visible in the background of the slide.

**I. 2025年3月期 第2四半期
決算概要**



■ 決算総括 → 連結増収・増益

- ・売上: 海外の自動車、事務機向けの増加、実装関連の好調、円安の為替もあり増収
- ・営業利益: ベトナムの増収による増益
中国のコスト改善と高付加価値基板の増加

■ 国内の状況

- ・基板は引き続き自動車向け受注低迷で減収・減益
- ・実装関連は産業機器、航空機向け好調で増収

■ 海外の状況

- ・ベトナムは北米向けの自動車分野の受注好調で増収、増益
- ・中国は家電製品向けを中心に受注減
受注減に合わせたコスト改善、高付加価値の金属基板増加

2025年3月期第2四半期 連結決算業績

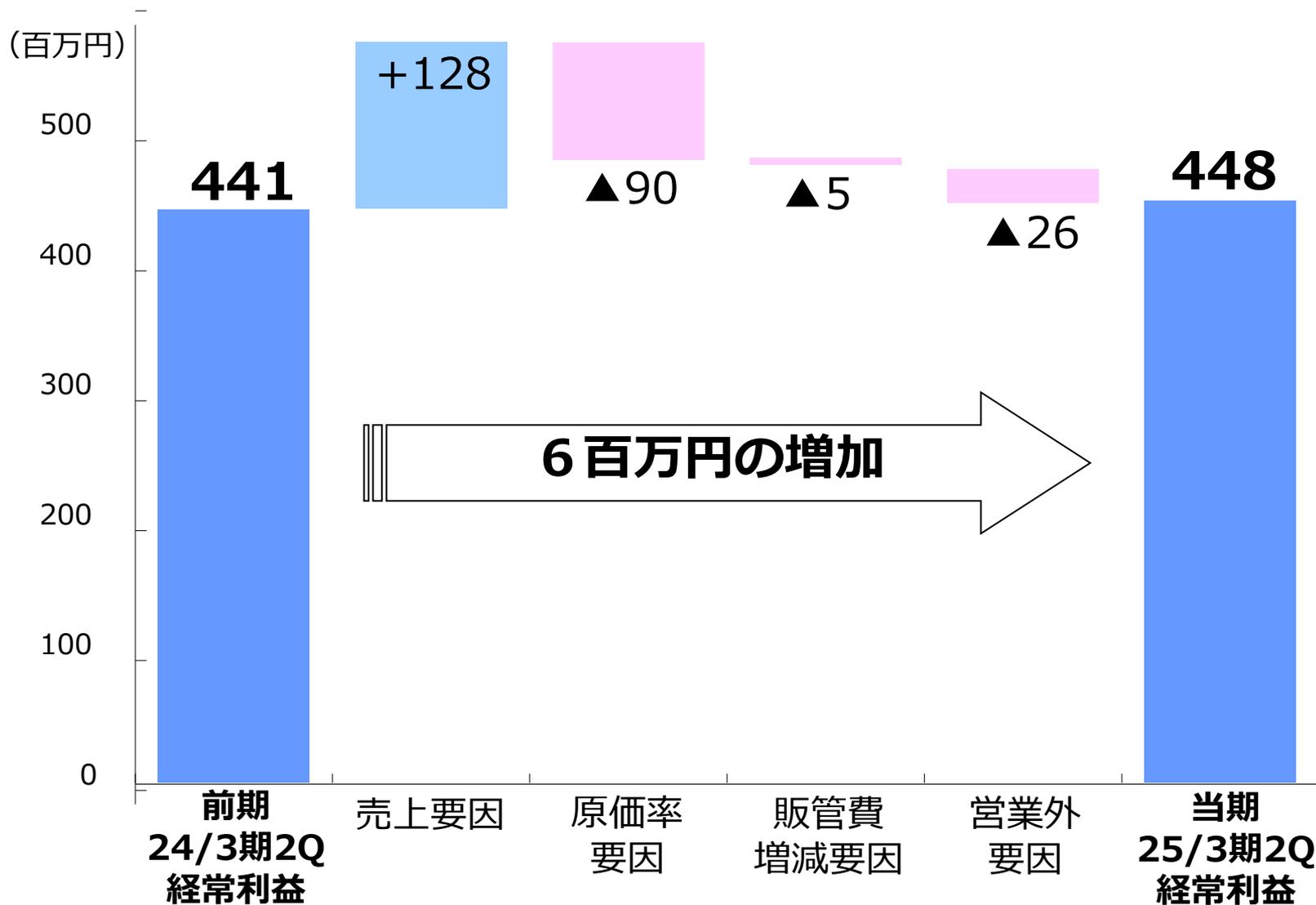


(単位：百万円)

連結	前期実績 (2024年3月期2Q)	当期実績 (2025年3月期2Q)	増減額	前期比	
売上高	12,130	12,808	+677	105.6%	
営業利益	631	665	+33	105.3%	
経常利益	441	448	+6	101.5%	
親会社株主に帰属 する中間純利益	287	270	△17	94.0%	
営業利益率	5.2%	5.2%			
為替 レート	インドネシア ベトナム 中国・香港	(US\$) 141.00 (US\$) 134.85 (HK\$) 17.20	(US\$) 152.63 (US\$) 152.25 (HK\$) 19.47	11.63 17.40 2.27	108.2% 112.9% 113.2%

経常利益の前期比較

■ 海外増収も、国内減収により原価率上昇し、利益は微増



地域別セグメント業績



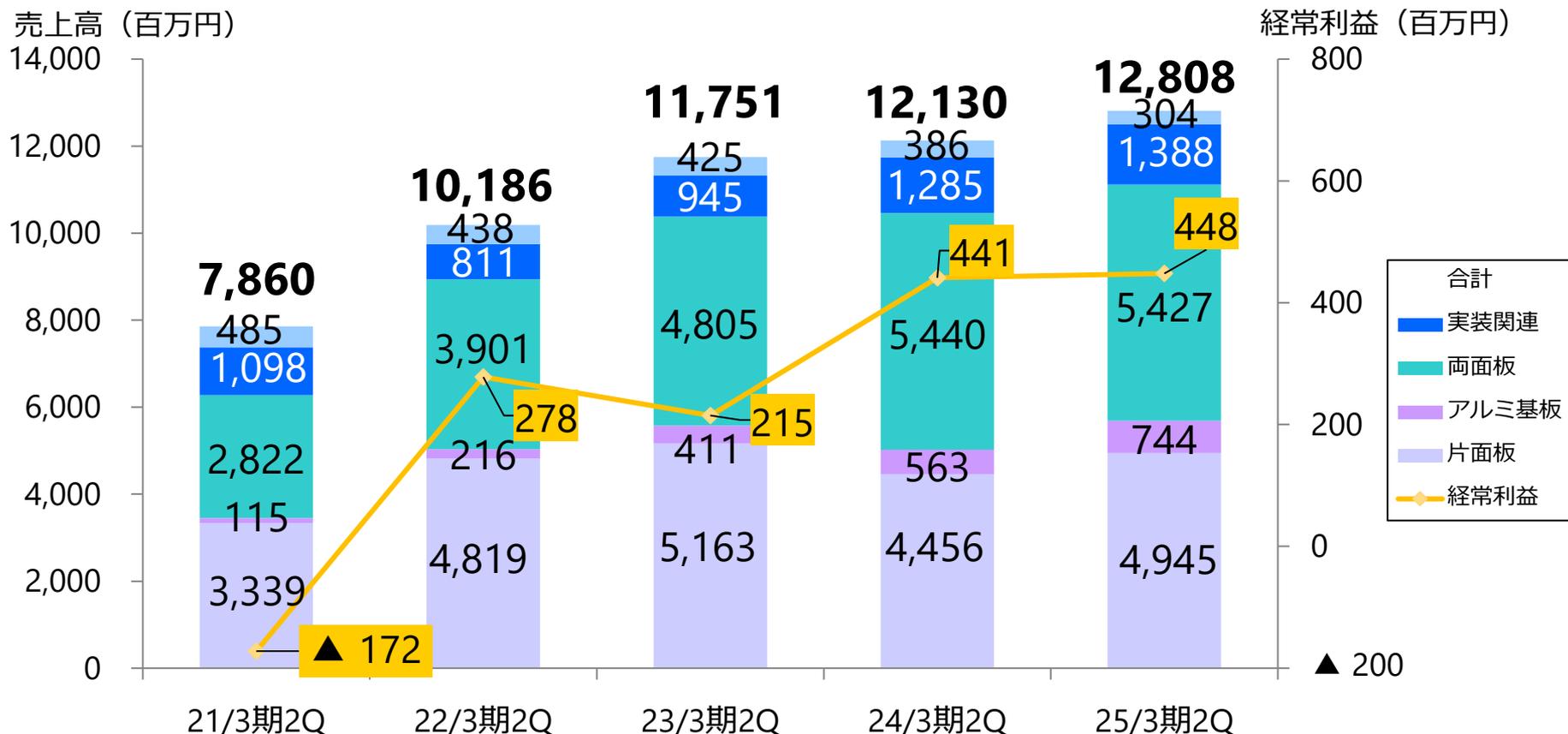
- 日本 : 自動車分野の受注低迷により減収減益
- 中国 : 円安の為替により増収、コスト改善と高付加価値品増加で増益
- インドネシア : 事務機分野等の受注回復により増収増益 (黒字化)
- ベトナム : 北米向けの自動車分野の受注好調により増収増益

拠点		前期実績 (2024年3月期2Q)		当期実績 (2025年3月期2Q)		増減	
		百万円	利益率	百万円	利益率	百万円	率
日本	売上高	5,296	2.2%	5,066	-	△ 229	△4.3%
	営業利益	117		△ 92		△ 209	-
中国	売上高	6,323	6.6%	7,088	8.2%	+ 765	12.1%
	営業利益	418		581		+ 162	38.9%
インドネシア	売上高	1,096	-	1,391	0.1%	+ 295	26.9%
	営業利益	△ 36		0		+ 37	-
メキシコ	売上高	60	-	93	1.3%	+ 32	53.6%
	営業利益	△ 0		1		+ 1	-
ベトナム	売上高	1,749	7.9%	2,236	8.9%	+ 486	27.8%
	営業利益	138		200		+ 61	44.7%

※売上高にセグメント間の内部取引高を含む

製品別売上高推移

■ 片面板は事務機向けの回復、実装関連は産業機器・航空機向け増加



為替レート

	2021年3月期2Q	2022年3月期2Q	2023年3月期2Q	2024年3月期2Q	2025年3月期2Q
インドネシア: US\$	106.92	109.80	133.97	141.00	152.63
ベトナム: US\$	108.27	107.69	122.89	134.85	152.25
中国・香港: HK\$	13.95	13.88	15.70	17.20	19.47

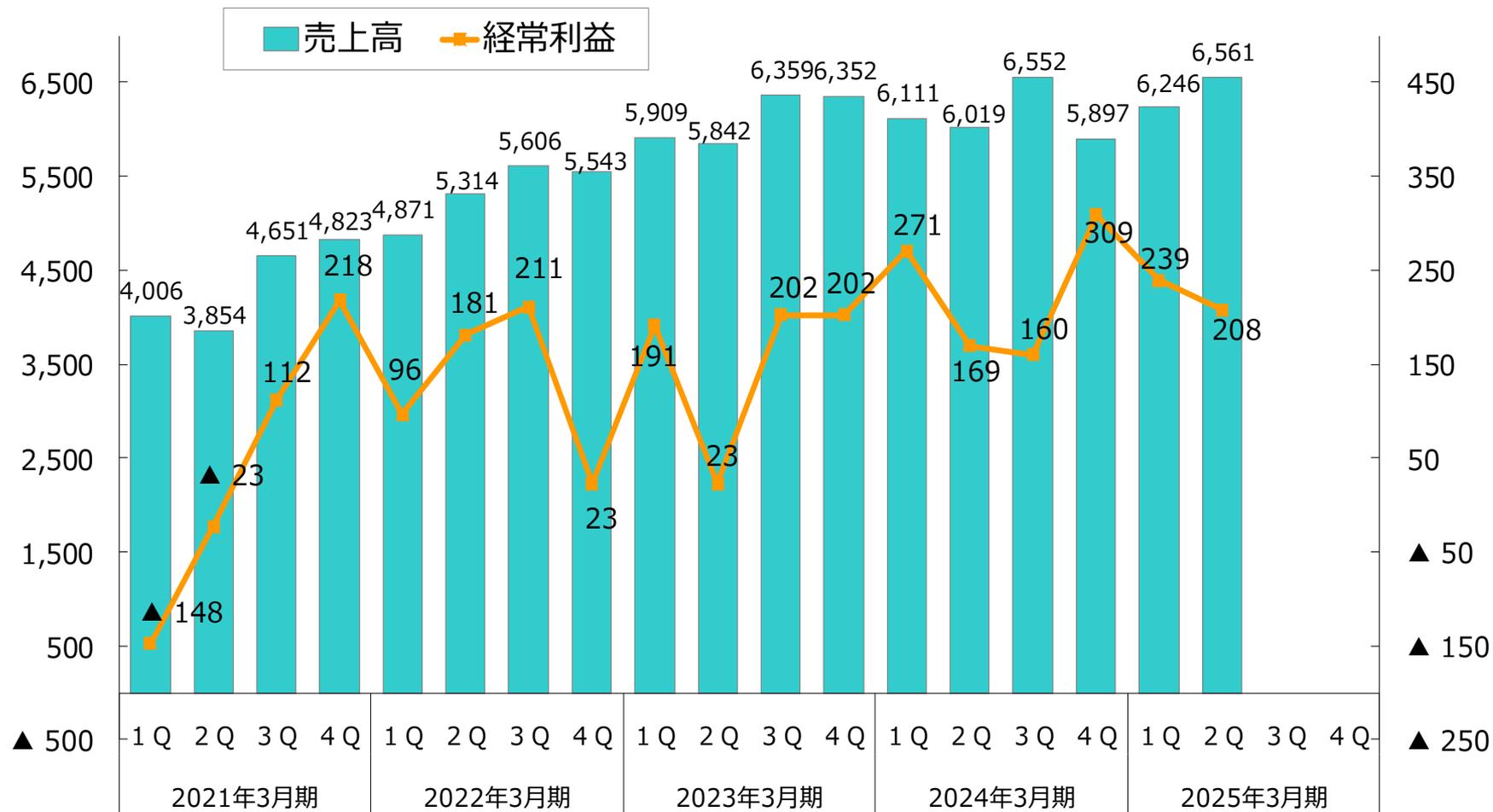
※両面板に多層板と銀ル-ホール基板を含む

四半期毎の業績推移

■ 1Q比 増収減益 国内減収や経費等の増加により減益

売上高 (百万円)

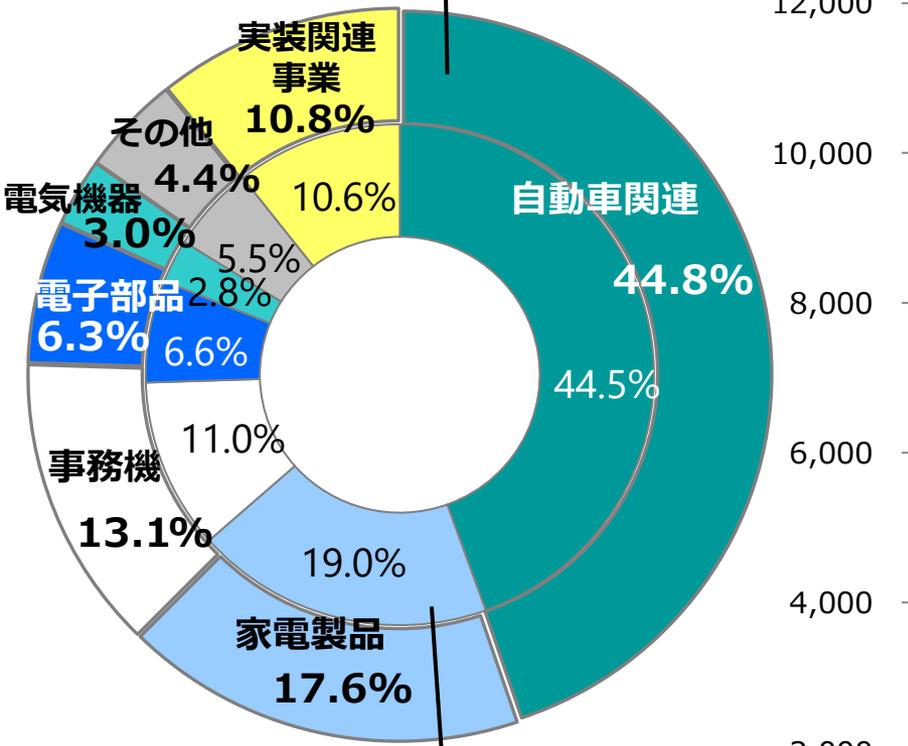
経常利益 (百万円)



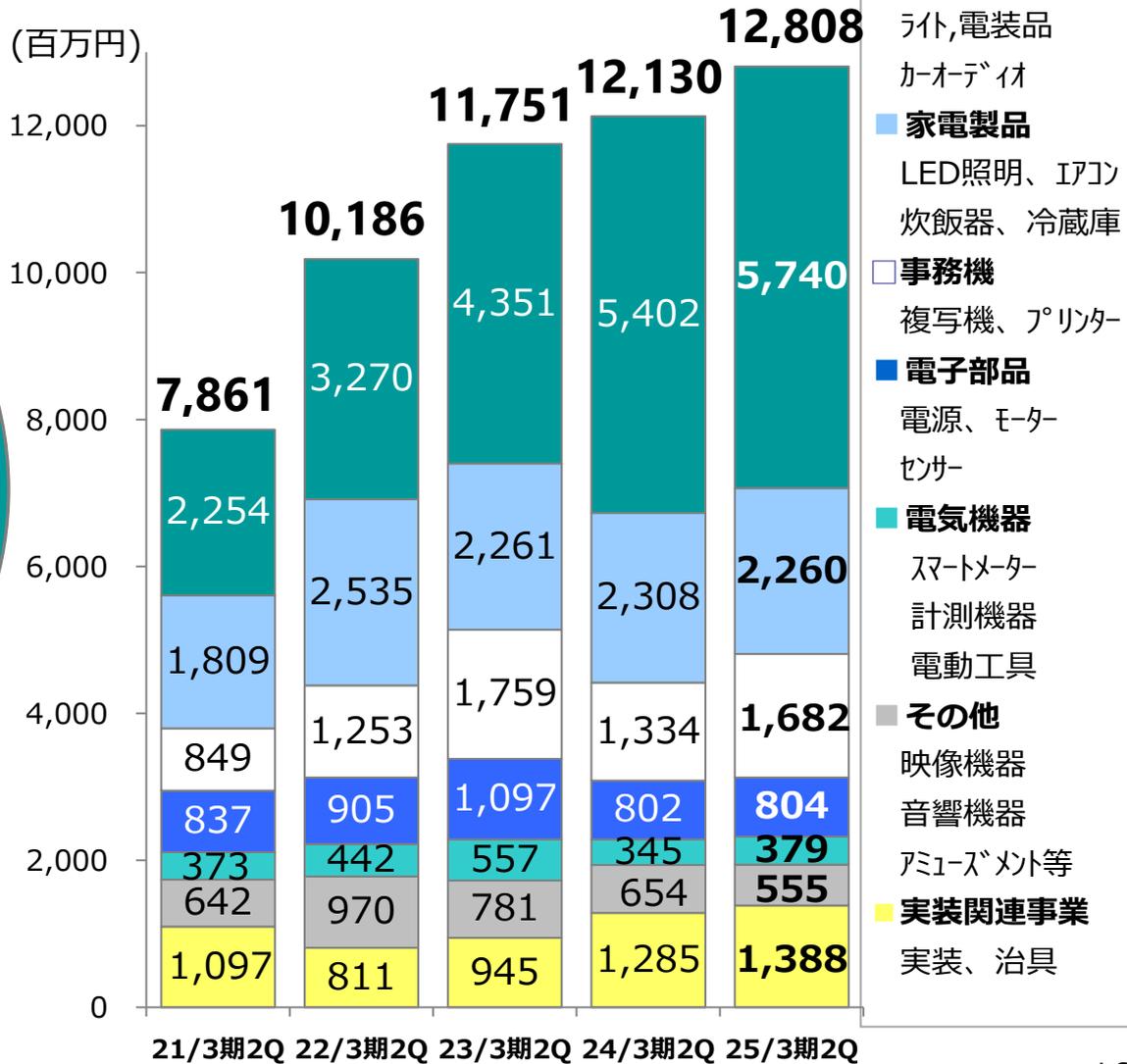
用途別売上高

■ 自動車関連、事務機向けの海外売上増加

外：25年3月期2Q（当期）



内：24年3月期2Q（前期）

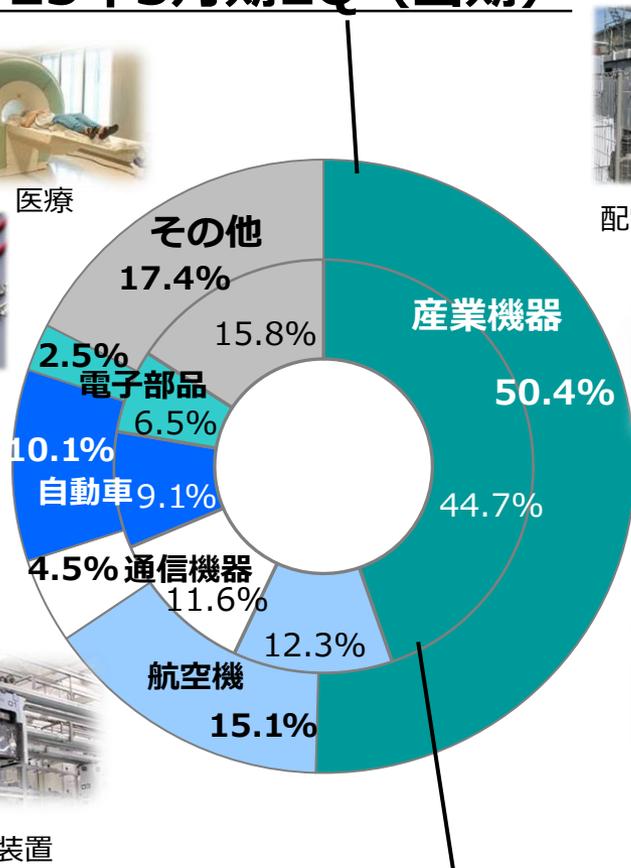


実装関連事業の用途別売上高

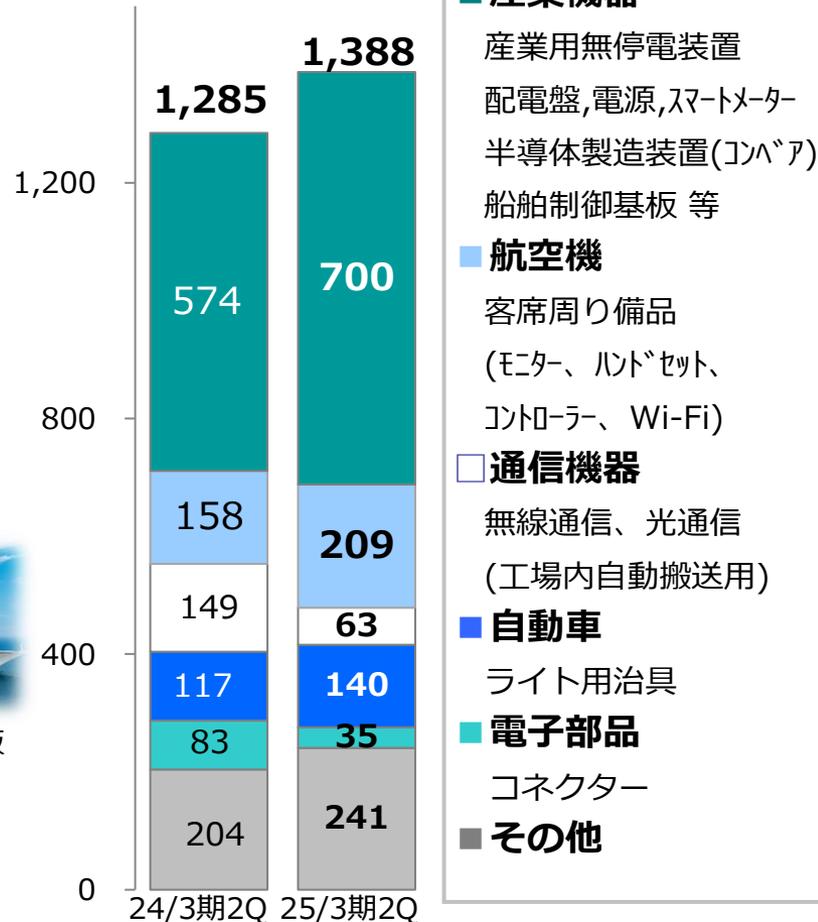
■ 主力の産業機器、航空機向けの受注好調

外：25年3月期2Q（当期）

(百万円)



内：24年3月期2Q（前期）



- **産業機器**
 - 産業用無停電装置
 - 配電盤, 電源, スマートメーター
 - 半導体製造装置(コンバア)
 - 船舶制御基板 等
- **航空機**
 - 客席周り備品
 - (モニター、ハンドセット、コントローラー、Wi-Fi)
- **通信機器**
 - 無線通信、光通信
 - (工場内自動搬送用)
- **自動車**
 - ライト用治具
- **電子部品**
 - コネクタ
- **その他**



医療



配電盤, 電源



コネクタ



スマートメーター



船舶制御基板

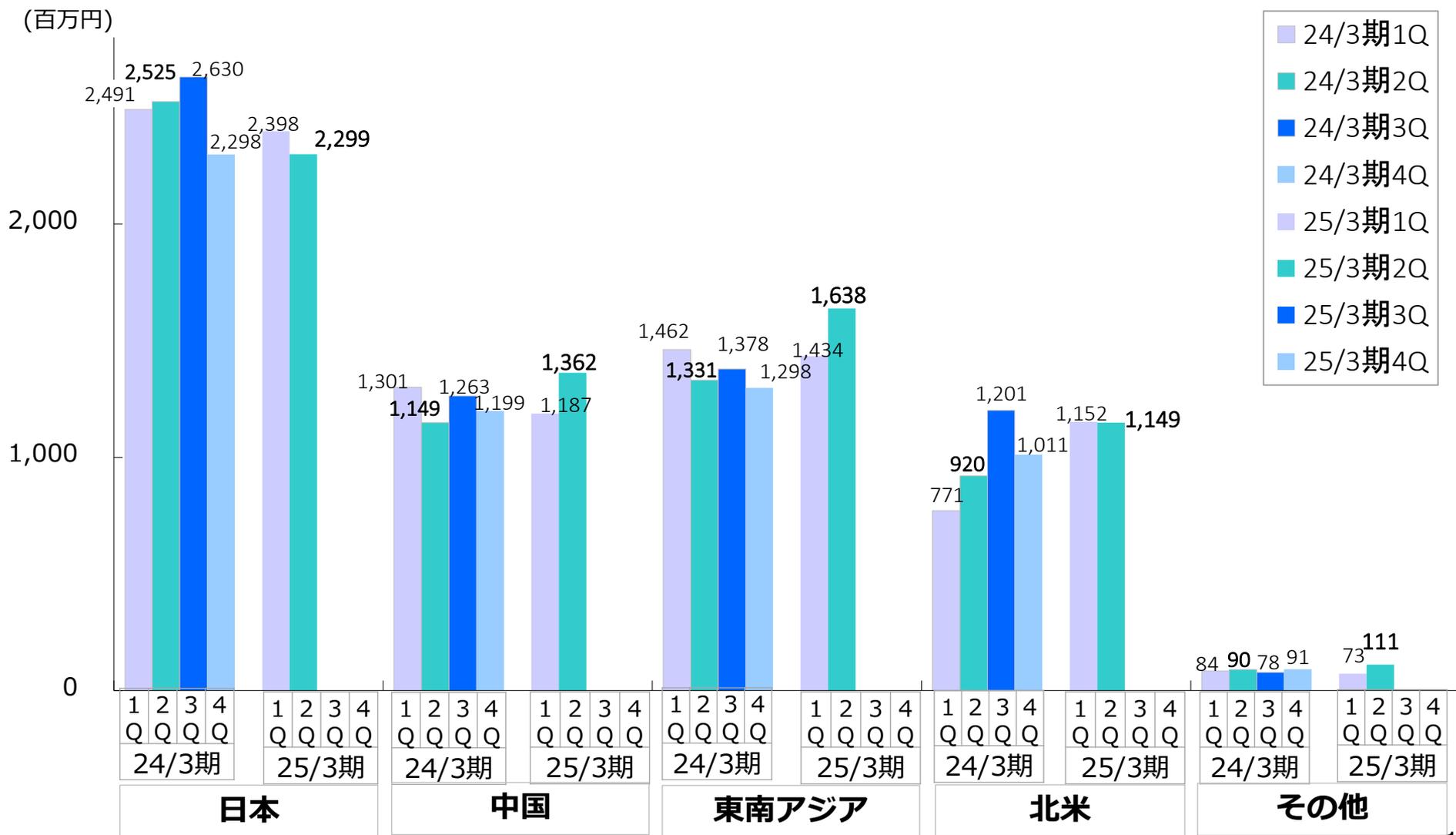


自動搬送装置

販売地域別四半期売上高



■ 前2Q比 日本を除く全地域売上増加



貸借対照表

■ 円安の為替影響により総資産増加

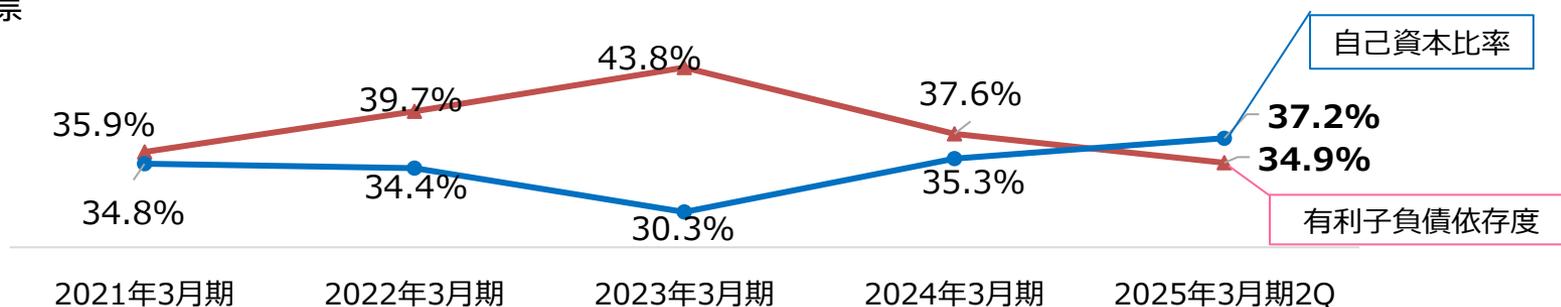
(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期2Q	前期比増減
資産合計	17,885	20,894	23,879	23,340	25,867	+ 2,527
流動資産	11,094	13,715	15,950	15,050	16,966	+ 1,915
棚卸資産	2,411	4,415	4,634	4,108	5,114	+ 1,005
固定資産	6,790	7,178	7,929	8,290	8,901	+ 611
負債合計	11,451	13,499	16,432	14,879	15,981	+ 1,102
流動負債	7,536	9,675	10,884	9,491	10,632	+ 1,141
固定負債	3,915	3,824	5,548	5,388	5,348	△ 39
有利子負債(長短)	6,428	8,294	10,456	8,780	9,028	+ 248
純資産	6,433	7,395	7,446	8,461	9,886	+ 1,425

為替レート

インドネシア：US\$	110.71	122.39	133.53	151.41	142.73	△ 8.68
ベトナム：US\$	103.50	115.02	132.70	141.83	161.07	+ 19.24
中国・香港：HK\$	13.35	14.75	17.02	18.15	20.63	+ 2.48

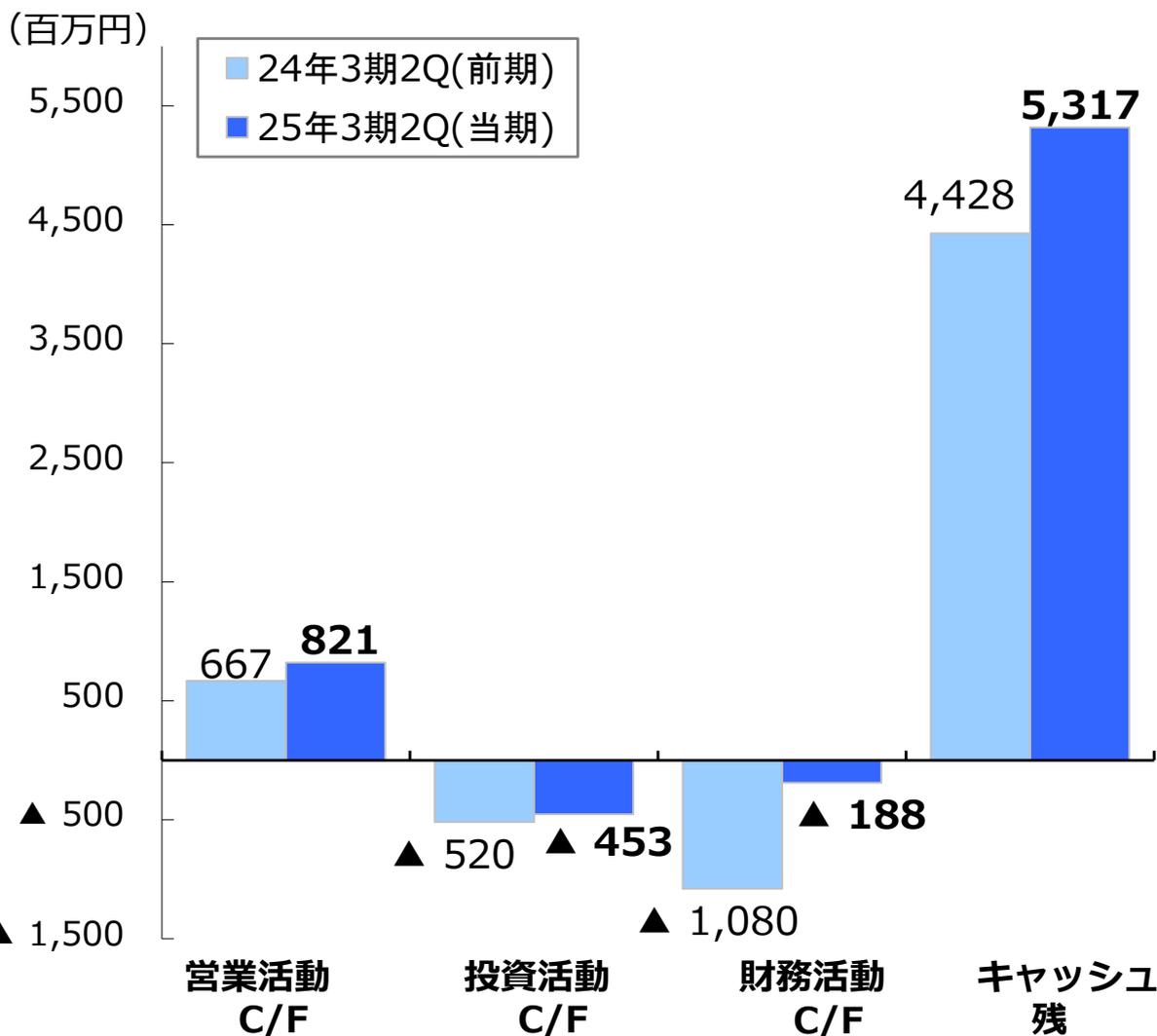
■ 経営指標



キャッシュ・フロー計算書



■ 安定した営業C/Fの確保



<特記事項>

営業活動C/F **821 百万円**

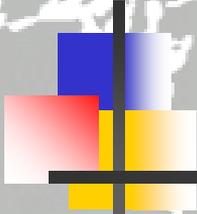
税引前利益	444百万円
減価償却費	537百万円
売上債権の減少	240百万円
棚卸資産の増加	▲622百万円
仕入債務の増加	188百万円
利息の支払額	▲179百万円
法人税等の支払	▲115百万円

投資活動C/F **▲453百万円**

有形固定資産等の取得	▲451百万円
国内 アルミ基板設備	
各社 生産設備	

財務活動C/F **▲188百万円**

短期借入金純増減	86百万円
長期借入金純増減	▲104百万円
配当金の支払	▲143百万円

A light gray world map is centered in the background of the slide.A decorative graphic consisting of a black crosshair with four colored squares (blue, red, yellow, and white) at the intersections, positioned to the left of the main title.

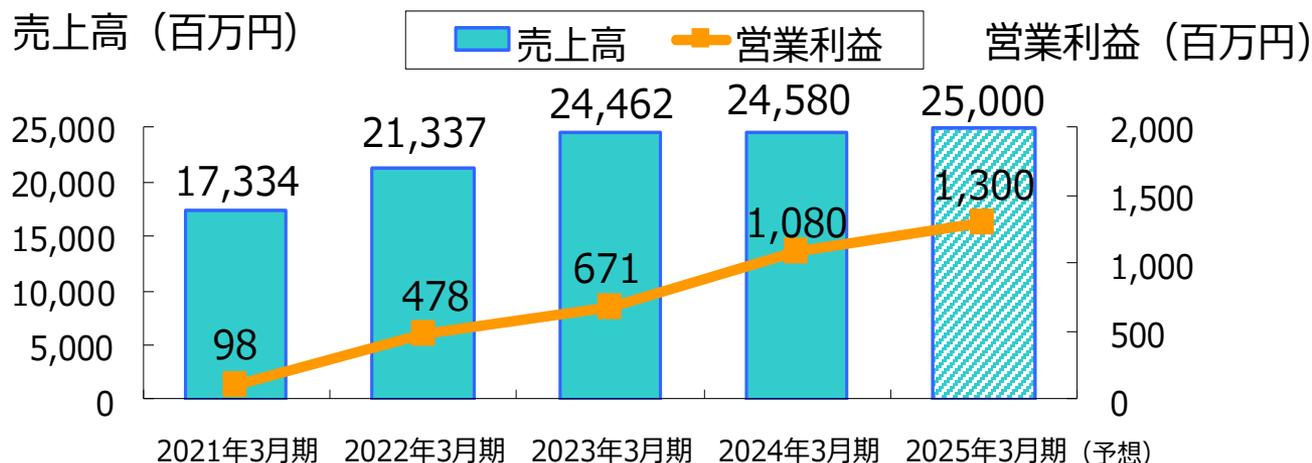
Ⅱ. 2025年3月期 業績予想

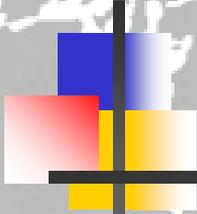
2025年3月期 連結業績予想



(単位:百万円)

連結	業績予想 (2025年3月期)			
	通期	前期比	第2四半期 実績	進捗率
売上高	25,000	101.7%	12,808	51%
営業利益	1,300	120.3%	665	51%
経常利益	970	106.4%	448	46%
親会社株主に帰属する 当期純利益	640	105.8%	270	42%
配当予想(円)	11.00	1.00	11.00	—
US\$為替レート	145.00	—	152.63 152.25	インドネシア ベトナム
HK\$為替レート	18.52	—	19.47	中国・香港



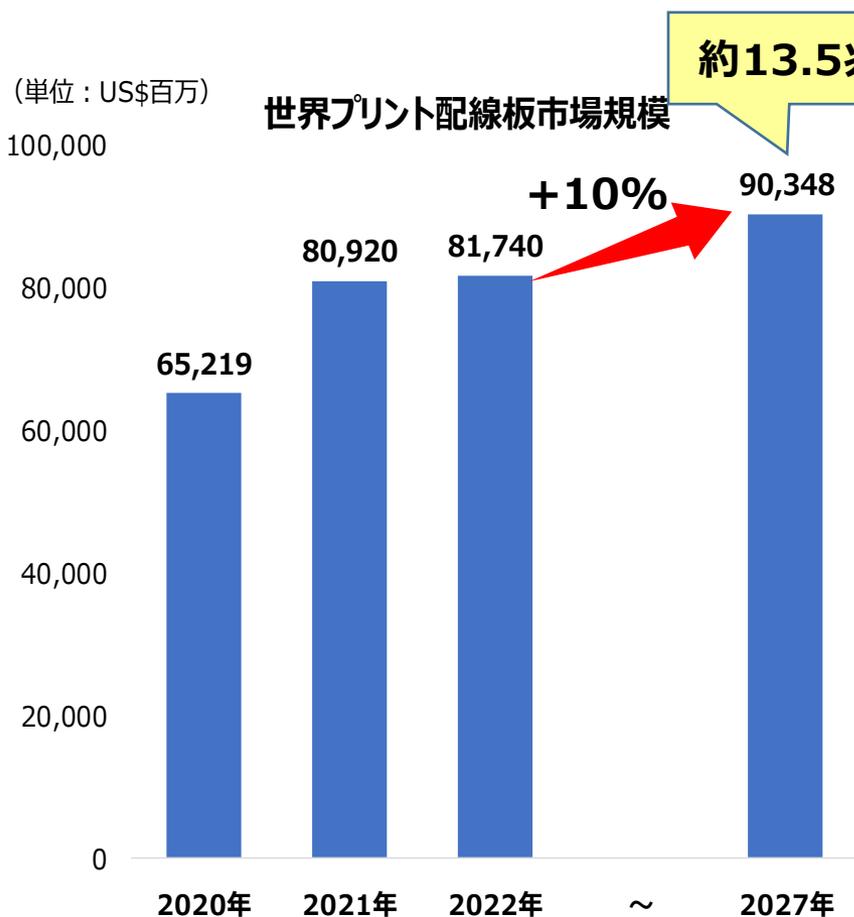
A faint, light gray world map is visible in the background of the slide.A decorative graphic consisting of a black crosshair with four colored squares (blue, red, yellow, and white) at the intersections, positioned to the left of the main text.

Ⅲ. 中期経営計画について

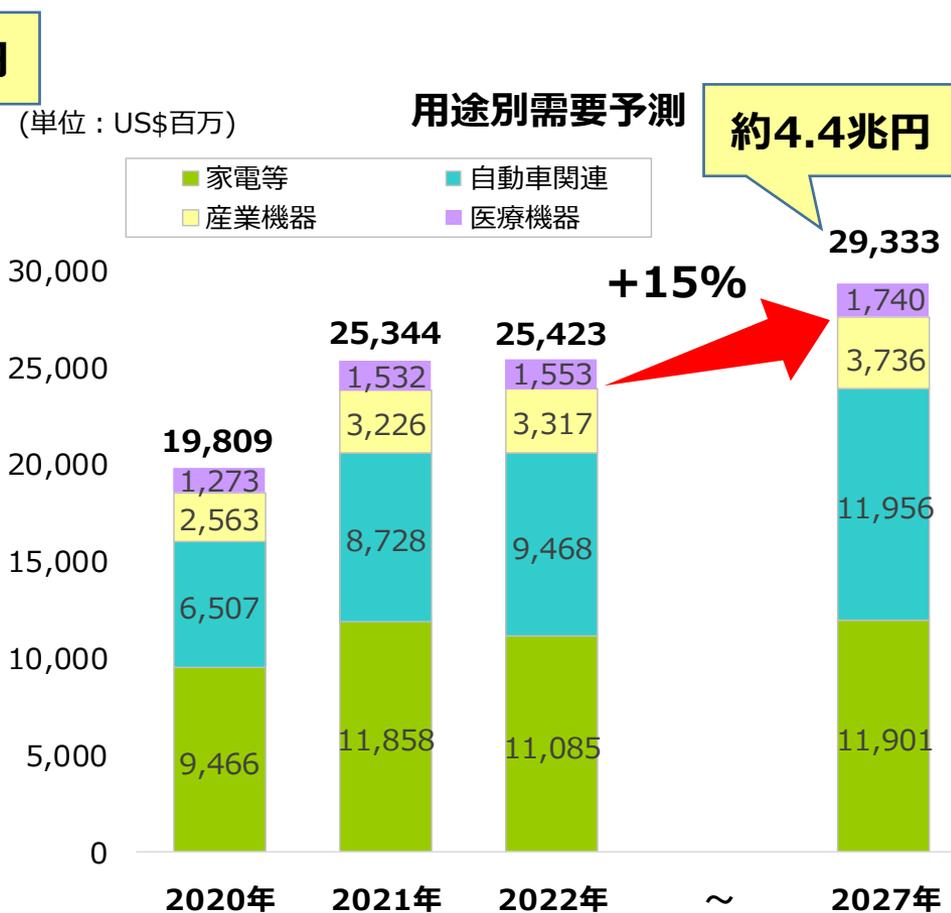
2022年3月期～2026年3月期（5年計画）

世界市場の動向

■ 今後も世界のプリント配線板需要は拡大の見込み



■ 京写がターゲットとする車載、家電、産業機器などで需要拡大



※出所：Hong Kong Printed Circuit Association (香港綫路板協会)

プリント配線板業界での京写のポジション

- 京写は強みを活かせる事業領域に特化し、競争優位を発揮
同業他社は撤退や多層板以上にシフトし、競合は減少

(片面板は家電等の底堅い需要があり、両面板は自動車、産機向けで需要増)

プリント配線板の種類	京写 生産拠点	用途	参入企業
パッケージ ビルドアップ	—	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体(パッケージ基板) ・通信機器(スマートフォン) ・精密機器(デジタルカメラ) 	イビデン、新光電気工業 メイコー、CMK、京セラ 台湾系、韓国系、中華系多数
多層板	—	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン(HDD、ネットワーク機器等) ・自動車(エンジンコントローラ等) 	メイコー、CMK、キョウデン シライ電子、台湾系、韓国系、 中華系多数
両面板	日本 中国 ベトナム	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車(ライト、インパネ等) ・アミューズメント機器(ゲーム機等) ・電子部品(センサー、医療機器等) ・産業機器 (FA機器、ロボット等) 	京写 、シライ電子(日本、中国) キョウデン (日本、タイ) 台湾系、中華系
銀ペースト 両面板	中国	<ul style="list-style-type: none"> ・カーオーディオ ・事務機(OA端末) 	京写 、北陸電工
金属ベース	日本、中国 インドネシア	<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品(モーター、電源部品等) 	京写 、日本発条、中華系
片面板	日本 中国 インドネシア	<ul style="list-style-type: none"> ・家電製品 (LED照明、エアコン、炊飯器等) ・事務機(複写機、プリンター) 	京写 、日系未上場企業 中華系

京写グループの事業領域

経営ビジョン

一流になる

スローガン

Build Trust（信頼関係の構築）

基本戦略

企業間連携を最大活用し、独自技術に磨きをかけ
グローバルニッチトップメーカーになる

6つの重点戦略

- | | |
|---------------|-------|
| ①グローバル生産・販売戦略 | ④技術戦略 |
| ②企業間連携戦略 | ⑤財務戦略 |
| ③効率化戦略 | ⑥人財戦略 |

①グローバル生産・販売戦略

主旨

グローバル供給体制によるソリューションの提供

市場動向

・サプライチェーン分散化の加速 ・ASEAN(ベトナム)の成長 ・自動車電装化、EV化の進展 ・再生可能エネルギー、インフラ市場拡大、5Gの普及

重点施策

①最適な供給網の再構築

- ・ベトナム工場第1期フル稼働
- ・両面事業・営業拠点の再編

②車載・再生可能エネルギー分野向け

両面・金属基板事業の拡大

- ・技術提案型営業の推進

③片面シェア拡大による業界最大の利益確保

- ・圧倒的低コストでのものづくり

④基板・実装・治具の販売シナジー最大化

- ・グループ内連携による拡販
- ・外資系メーカーへの拡販

2026年3月期目標

製品別売上 (300億円)

両面板・金属基板の拡大

単位：億円

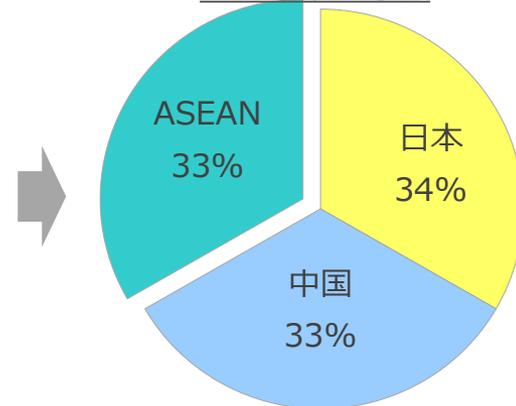


生産拠点別売上割合 ASEAN(ベトナム)地域拡大

2021年3月期



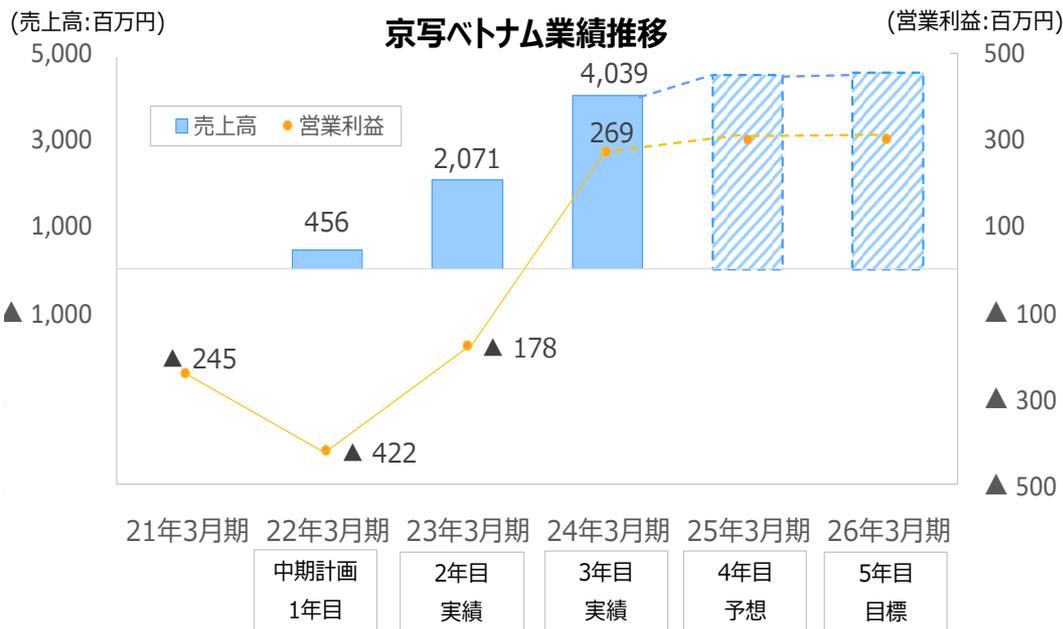
2026年3月期



①グローバル生産・販売戦略

【実績】両面板事業の海外展開 ベトナム

- 京写ベトナムは、主に自動車分野向けに需要拡大が続く、両面板のグローバル供給拠点として、2021年1月より1ライン体制で生産(月産2万㎡)を開始、北米やASEAN地域、日本に製品を供給
- 2023年8月第2生産ライン完成、生産能力を増強し月産4万㎡に拡大
顧客の旺盛な需要とグループ内製化強化による生産量増加に対応
- ジェトロ海外サプライチェーン多元化支援事業に採択(2020年12月)
第2生産ライン拡大は、生産拠点の多元化により、製品供給が安定し、日本とASEAN地域のサプライチェーンの強靱化に寄与する事業と認定
- 2024年3月 USD2百万増資 → 資本金USD17百万へ
新規受注増で生産能力増強、太陽光発電導入対応



■ 京写ベトナム概要

- ・ 所在地 : ハノイ市 ドンバン3工業団地
- ・ 設立年月 : 2019年1月25日
- ・ 資本金 : USD17,000,000
- ・ 敷地面積 : 35,044㎡
- ・ 工場面積 : 12,934㎡(第1期)
- ・ 生産能力 : 両面板40,000㎡/月(第1期)
- ・ 総投資額 : 約USD36百万(第1期2ライン体制)

②企業間連携戦略

主旨

戦略的ネットワークによる競争優位の獲得

市場動向

・自動車電装化・EV化の進展、再生可能エネルギーのイノベーション等、
技術高度化・ニーズ多様化の加速

重点施策

①顧客・仕入先との連携

- ・EMSメーカー・商社との連携マーケティングによる製品開発、販路拡大
- ・材料メーカーとのタイアップによる新商品開発

②同業他社との相互補完関係の構築

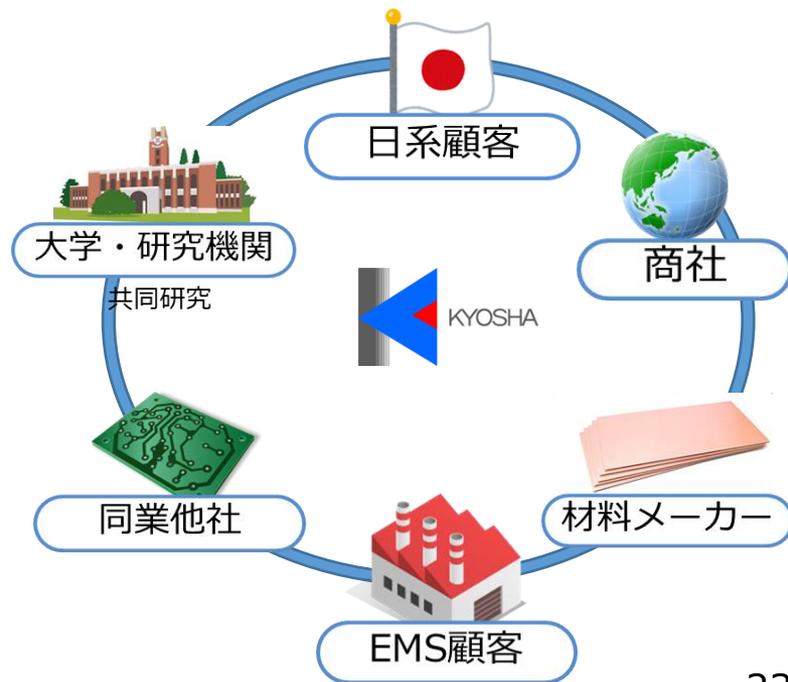
- ・同業他社との連携によるベトナム両面板増産
- ・設計・試作会社との連携による受注拡大

③技術の共同開発

- ・産学連携による技術・ビジネス開発

目標

- ①販路拡大・新市場開拓
- ②提携シナジーによる事業拡大
- ③新製品開発（コア技術確立）



③効率化戦略

主旨

自動化、IT化及びDX推進による生産性向上

市場動向

- ・人材不足、人件費高騰によるデジタル技術の進展
- ・コロナ禍によるビジネスモデルの抜本的変革
- ・コスト対応力の要求

重点施策

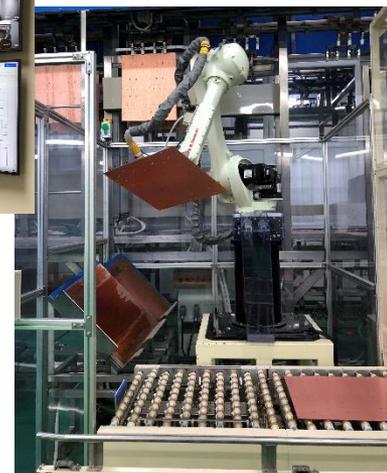
- ① **自動化、IT化による生産効率向上**
 - ・自動化による工数・ロスタイムの削減
 - ・新工法活用による生産量拡大
- ② **DX活用による業務効率化推進**
 - ・基幹システムによる見える化・効率化
 - ・DX推進による業務の見直し
- ③ **トヨタ生産方式の水平展開**
 - ・ムダの排除による小ロット対応の最適化
 - ・設計強化による付加価値提案(VE)

2026年3月期目標

営業利益	16億円
利益率	5.3%



京写ベトナムIT化



自動化(ロボット化)推進

④ 技術戦略

主旨

コア技術の深化によるニッチ・成長市場の開拓

市場動向

環境負荷低減、省エネルギーや小型化・高密度化ニーズの高まり

重点施策

① 市場ニーズに基づく開発資源の集中

- ・プリンタブル関連基板の事業化
- ・0603対応微細基板の技術提案

② 超厚銅基板の技術確立

- ・厚銅エッチング技術確立、量産化

③ 付加価値のある印刷技術の追求

- ・大板印刷・Cuペースト印刷の技術確立

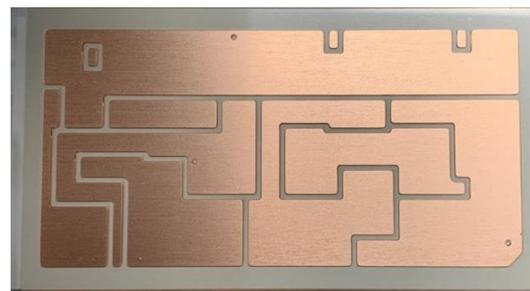
④ 生産技術を活用した新用途・新工法の開発

- ・自動機(ロボット)や工程革新のための研究開発
- ・治具の新用途開発

2026年3月期売上目標

環境対応商品

10億円



超厚銅基板(外観)



(断面)

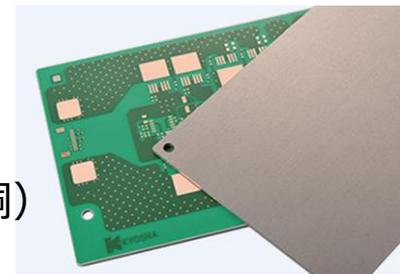
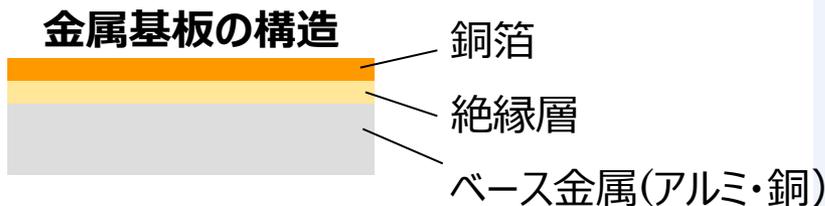


プリンタブル基板
(ストレッチャブル基板)

【実績】新商品“金属基板” – 省エネルギー製品の需要拡大

新商品の「**金属基板**」は素材がアルミ等の金属で、放熱性が高く**自動車向けLEDヘッドライト**などの高い熱を発する製品での需要が拡大

金属基板は片側のみに配線があり、当社の主力製品の片面プリント配線板と同じ構造です



金属基板(アルミベース)

■ 当社金属基板の特徴

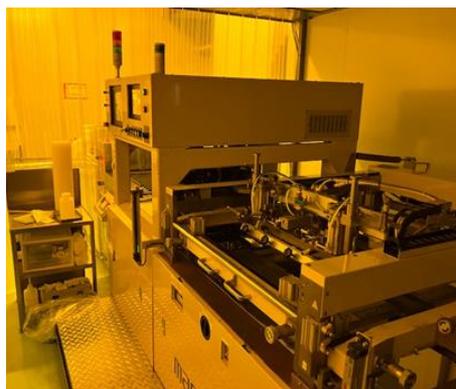
- ①「**スクリーン印刷**」で製造、他社製法の「写真法」と比べ約2倍の生産性
- ②印刷精度は写真法で生産した製品と同等の品質
- ③上記による高い価格競争力

これらの特徴から中国工場で順調に生産量を拡大、現在は九州工場での量産も準備中

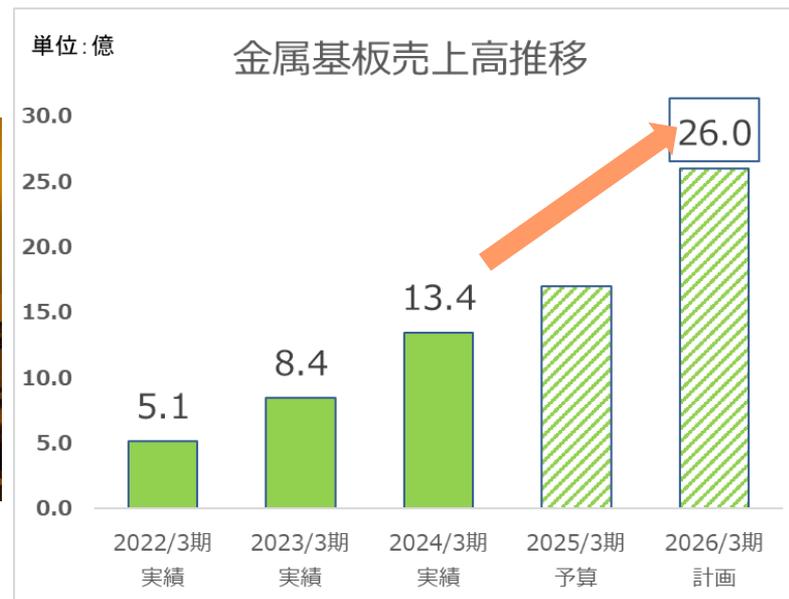
■ 九州工場 金属基板の製造ライン



金属基板 前処理装置



レジスト 印刷機



⑤財務戦略

主旨

将来の成長実現に向けたキャッシュ・フロー経営

市場動向

米中貿易摩擦長期化、サプライチェーン分散化の加速によるASEAN(ベトナム)の成長、世界経済の回復見通し

重点施策

① 持続的成長に向けた集中と選択による投資

- ・将来の成長事業への優先投資と早期収益化による投資回収

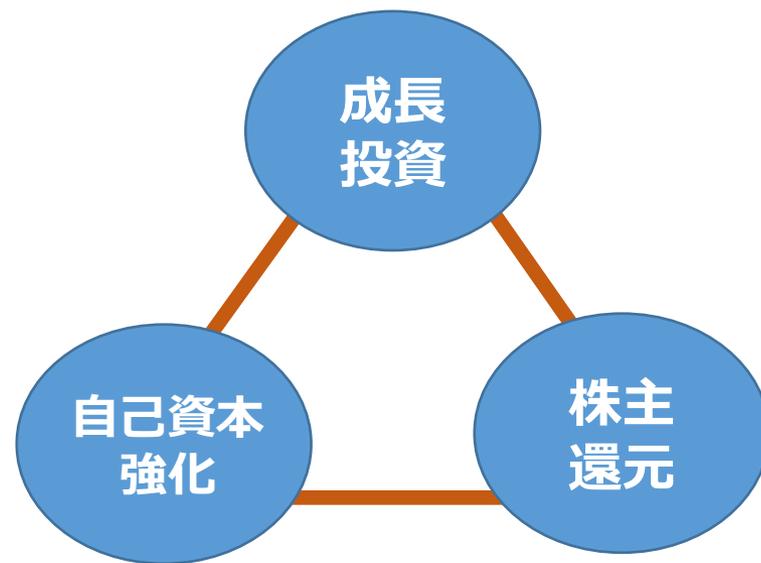
② 自己資本の強化

- ・収益力強化による自己資本の充実
- ・有利子負債の適正化
- ・生産リードタイム短縮、棚卸資産・売上債権の圧縮による資本効率化

③ 持続的・積極的な株主還元

2026年3月期目標

ROE	10%
配当性向	25%



⑥ 人財戦略

主旨

社員一人ひとりの能力開発と活躍による企業価値向上

市場動向

デジタル技術(DX)の進展加速、働き方の多様化、生活・仕事への価値観の変化、キャリア形成意識の向上、CSRに対する社会的要求の高まり

重点施策

① 社員満足度の向上

- ・働きやすい職場環境づくり
 - DX活用による働き方改革
- ・人事制度の見直し
 - 評価制度・業績連動型報酬

② 多様な人材能力の発揮

- ・グローバル人材、グローバル人材

③ マネジメント人材の育成

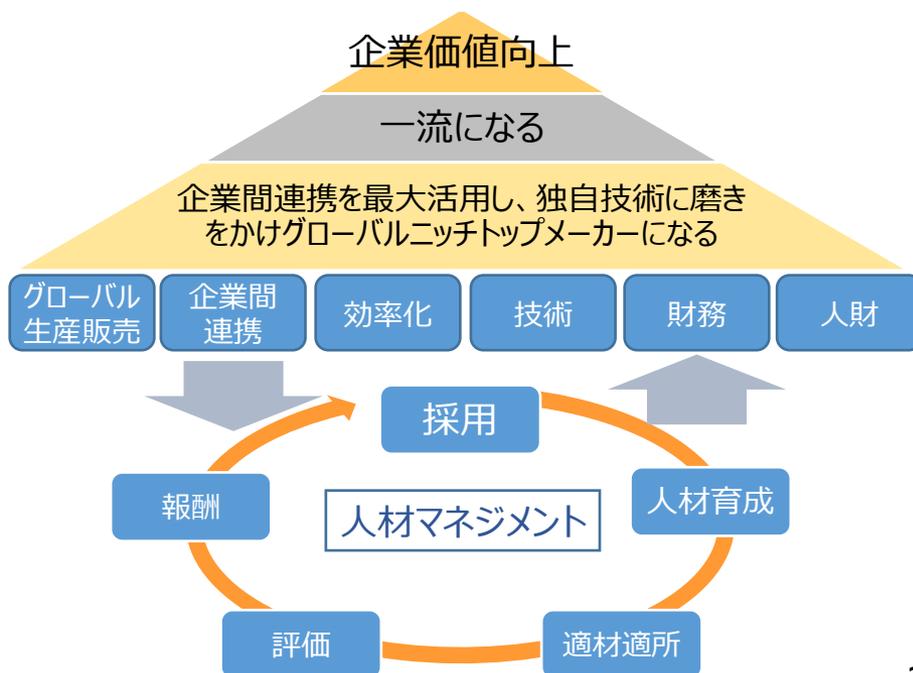
- ・後継者育成、マネジメント育成

④ 信頼と安全の体制づくり

- ・グループCSR体制の推進
 - ESG・SDGsの取組み
 - コーポレートガバナンス対応

目標

- ① 従業員が誇りに思える会社づくり
- ② スキルのレベルアップ
- ③ 高度な業務知識の向上
- ④ ESG課題の解決とコンプライアンスの徹底



【実績】三和電子・ベトナムで太陽光発電導入-持続可能な社会の実現へ

■サステナビリティ方針に基づき、環境に配慮した事業活動を行い、SDGsの「地球温暖化防止」の目標達成を目指す一環として、子会社で太陽光発電設備を導入

■三和電子… 2023年8月稼働

電力使用量の約**14%**を太陽光発電で賄い、年間約**173t**のCO2の削減達成

太陽光パネルの遮熱効果により電力削減を図る

さらに、2025年に残り半分の屋根に設置を計画、合計で年間約**300t**のCO2削減を見込む



三和電子の工場屋根に設置した太陽光パネル



三和電子の工場全景

■京写ベトナム

・2024年10月現在工事中

・電力使用量の約**7%**を太陽光発電で賄い、年間約**768t**のCO2の削減を見込む

中期経営目標

経営目標

2026年3月期

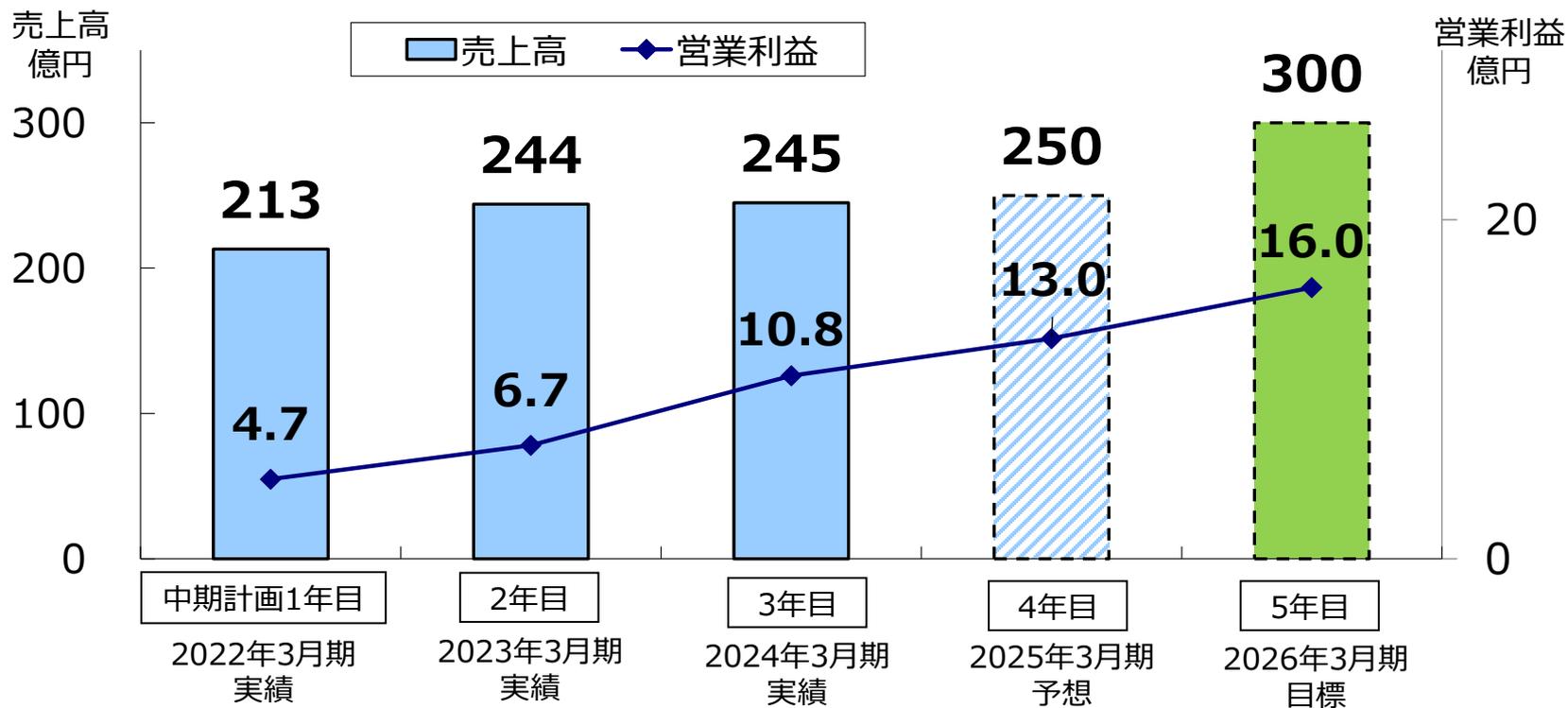
売上高 300億円

営業利益 16億円

営業利益率 5.3%

ROE (自己資本利益率) 10%

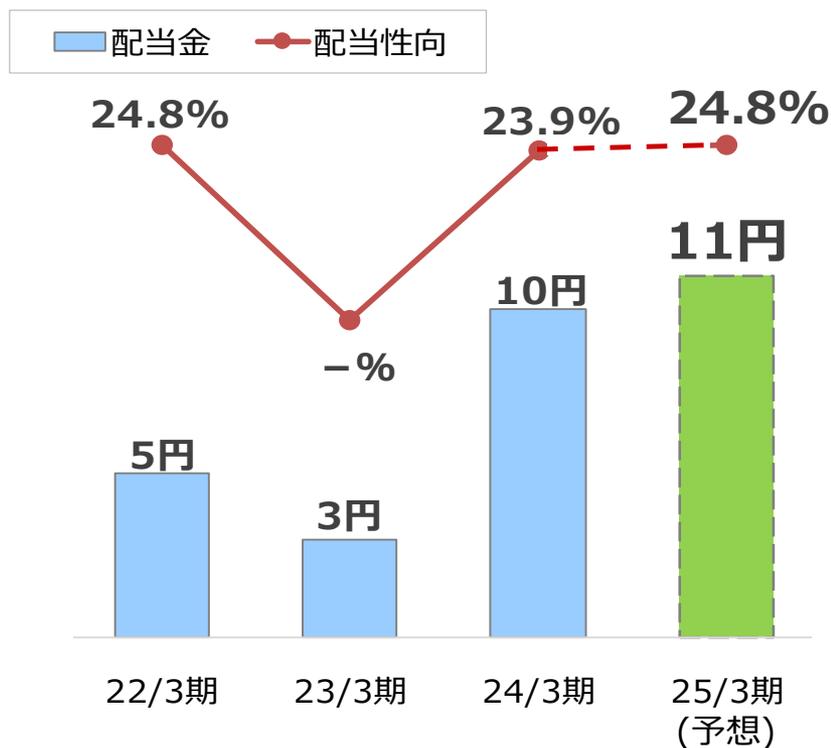
中期経営目標



株主還元

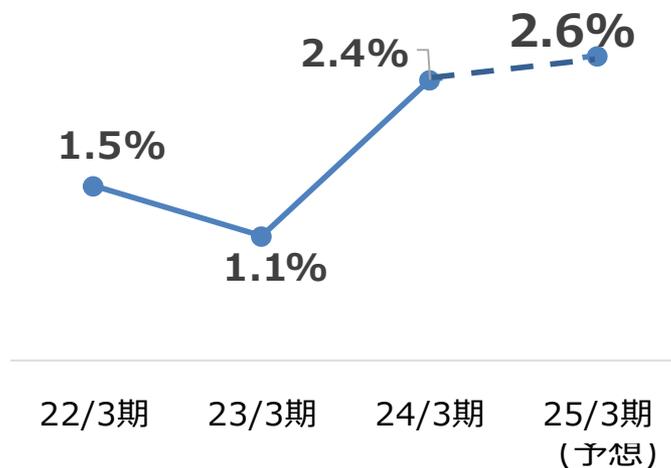
- 25/3期 1株当たり配当金は**11円**を計画
- 中期経営計画として**配当性向25%**を目指す

1株当たり配当金、配当性向推移



1株当たり当期純利益	20.18円	△33.78円	41.91円	44.34円
------------	--------	---------	--------	--------

配当利回り



期末株価	336円	284円	420円	420円
------	------	------	------	------

(※)

※25/3期予想「配当利回り」は2024/3/29終値をもとに算定

PBR・ROEの改善施策

■ ROE 10%達成のため収益力と資産効率を高め、財務基盤(自己資本)の強化を図る

2024年3月期
実績

2026年3月期
目標

施策内容

売上高
245億円

売上高
300億円

営業利益
10億円

営業利益
16億円

営業利益率
4.4%

営業利益率
5.3%

ROE
7.8%

ROE
10%

PBR
0.7倍

PBR
1倍以上

収益力の強化

- ・産機、医療等新分野の開拓
- ・日本、中国で高付加価値製品の金属基板事業拡大
- ・自動化設備導入による効率化
- ・ASEAN拠点の生産能力向上、輸出力の強化
- ・DX、生産効率化投資

資産効率性の改善

- ・事業ポートフォリオの見直し、成長事業に資本を配分
- ・棚卸資産の適正化

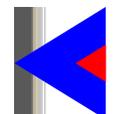
財務バレッジの改善

- ・安定的な株主還元
- ・自己資本の充実と成長投資のバランスを図る

成長・サステナ投資

株主還元

有利子負債返済



業績見通しについて

本資料には、当社グループの将来の計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信にもとづく見込みです。

また経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性も多分に含んでいます。それゆえ実際の業績は当社の見込とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

<お問い合わせ先>

株式会社京写

経営管理本部 経営企画部

HP: <https://www.kyosha.co.jp>

TEL:075-631-3193

FAX:075-631-8370

E-MAIL: ir@kyosha.co.jp